

山梨近代人物館
第17回展示

過去 | 未来



雨宮 敬次郎
Keijiro Amemiya



小野 金六
Kinroku Ono



河西 豊太郎
Toyotaro Kasai



小林 一三
Ichizo Kobayashi

近代日本を駆け抜けた 山梨の鉄道人たち



根津 嘉一郎
Kaichiro Nezu



早川 徳次
Noritsugu Hayakawa



堀内 良平
Ryofei Horiuchi



若尾 逸平
Ippei Wakao



渡辺 青洲
Seisuu Watanabe

2023.3/25(土) ~ 9/18(月)・祝

開館時間 9:00~17:00(入館は16:30まで) 休館日 第2・第4火曜日(その他臨時に休館する場合があります)※ 入館料 無料

山梨近代人物館

The Museum of
MODERN YAMANASHI HISTORICAL FIGURES

〒400-8501 山梨県甲府市丸の内1丁目6番1号
山梨県庁舎別館2階
TEL:055-231-0988 FAX:055-231-0991
<https://www.pref.yamanashi.jp/ykj/index.html>

写真提供:東武博物館、阪急電鉄株式会社、富士急行株式会社、
山梨中銀金融資料館、個人蔵

ご来館時は感染症予防対策へご協力ください。状況により入館制限を行うことがあります。

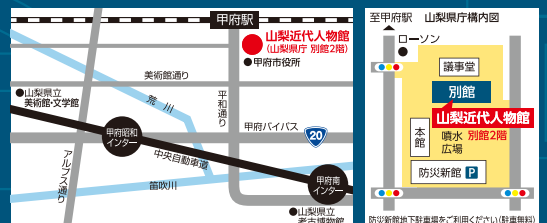
※最新の情報はホームページ等でご確認ください。



HP



Facebook

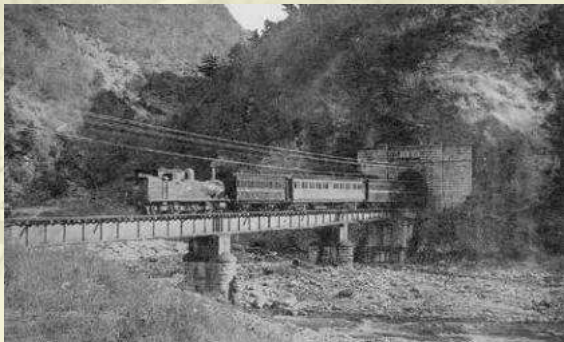


近代日本を駆け抜けた山梨の鉄道人たち

日本の近代化のあゆみは鉄道とともにありました。より速く、大量に、日本の社会を大きく変えて来たその150年の歴史には、多くの人々の叡智と情熱が刻まれています。そのような日本の鉄道の発展の物語のなかには、さまざまな山梨の鉄道人たちの綺羅星のごとき輝きをみることができます。彼らの夢が人々の喜びへと変わるまで、山梨の鉄道人たちの足跡とその思いを追いかけてみましょう。

山梨に鉄道を 一夢の中央線と身延線

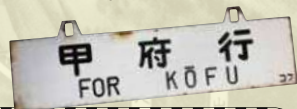
令和5年(2023)に、中央線が甲府まで開業してから120周年を迎えます。日本で最初の鉄道ができてから約30年のちのことです。まだ見ぬ鉄道への山梨の人々の熱望が高まるなかで、中央線や身延線の開業は、「甲州財閥」の人物らの手によって進められました。



当時日本最長の管子隧道を走り抜ける列車(明治時代)
山梨県立博物館蔵



富士身延鉄道(身延線)建設功労者碑(身延町)



鉄道と近代化

「甲州財閥」の人々は、鉄道で交通を便利にすることが、地域や国の産業の発展に直結するのだと考えていました。彼らは事業としての鉄道の経営とその将来性、そして鉄道の社会における役割を知り尽くし、山梨にとどまらず各地で鉄道の恩恵をもたらしていきました。



「新緑の旅」(富士身延鉄道(身延線)パンフレット) 個人蔵



富士山麓電気鉄道開通記念絵葉書 山梨県立博物館蔵

新しい大衆文化と社会生活

都市が拡大し、会社や工場で働く人々が増加していった大正時代、人々のくらしや社会の在り方も大きく変化していきました。大きな変化に直面した東京や大阪で、新しい交通のあり方を率先し、鉄道経営の多角化や新たな生活スタイルをもたらしたのも山梨の鉄道人でした。



すまいるはに内場試せ押を持て入に探の紙票動自を銅貨十に口札改札自(「道地下京東」の初版本)
東洋唯一 東京地下鉄道絵葉書
(10銭白銅貨をもちいた日本初の自動改札) 個人蔵



みのおりまでんききどう
箕面有馬電気軌道の終点到オープンした宝塚パラダイス
(['宝塚少女歌劇二十年史']より)

展示で紹介する人物 若尾逸平、渡辺青洲、雨宮敬次郎、小野金六、根津嘉一郎、堀内良平、小林一三、河西豊太郎、早川徳次(誕生順)

教育普及講座 山梨の生んだ鉄道人 一若尾・雨宮・根津一

- ❖日時:4月23日(日)午後1時30分~3時
- ❖会場:山梨県庁舎別館3階正庁
- ❖講師:齋藤康彦氏(山梨大学名誉教授)
- ❖参加費:無料
- ❖定員:40名(事前申し込みが必要)

このほか、毎月1回程度、展示紹介人物についてより深く知っていただくための教育普及講座を開催いたします。講座のテーマについては、当館ホームページなどをご確認ください。ご参加をご希望の方は事前にお申し込みください。予定は変更になる場合があります。